

平成 28 年度共生ビジョン追加事業として検討を進めている事業（案）

1 追加事業の概要

函館バス株式会社における交通系 IC カードシステムの導入を支援する。

2 提案主旨

公共交通機関の IC カードシステムは、JR 各社をはじめ私鉄やバス事業者への導入が進んでおり、平成 25 年 3 月からは IC カード事業者 10 社による全国相互利用が始まり、利用者の利便性が格段に向上している。

現在、函館バスでは、磁気カードシステムを使用しているが、老朽化による故障が多く、また、磁気カードメーカーの減少により、修理等に支障をきたす状況となっていることから、近年急速に普及が進んでいる IC カードシステムを導入することにより、利用者の利便性の向上を図るため、今年度中に基本的なシステムを導入し、来年春から運用を始め、平成 29 年度には定期券に関する整備を行う予定となっている。

導入に伴い、整理券や現金による料金支払いの煩わしさが解消され、スムーズな乗降と運行の定時性の確保が図られるなど、地域住民はもとより、北海道新幹線開業により増加が見込まれる観光客等においても利便性が向上し、道南を周遊する利用客の増加が期待できる。

このようなことから、圏域全体をカバーする唯一の生活交通機関である路線バスを使った取り組みは、地域住民の利便性の向上はもとより、広域観光の振興に資すると考えられるため、函館バス・函館市電共通仕様での IC カードシステムの導入時に、多額となる初期費用に対し、バス部分について関係市町が連携して財政支援を行うことについて協議中である。

3 具体的事業

【南北海道定住自立圏共生ビジョン P19】

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ア 地域公共交通

① 圏域内における公共交通手段の維持および確保等

事業概要：圏域内を結ぶバス事業者における IC カードシステム導入への支援を各市町が連携して行う。

事業費（千円）：H28 年度 150,167 H29 年度 10,017 合計 160,184

補助事業等の名称等：訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（観光庁）